

はなやま

はなやま 24号 もくじ

- ①看護部長、副看護部長からのあいさつ
- ②KLS委員会とは？
- ③米田昌弘先生、岩下考粹先生、木瀬英喜先生からごあいさつ

慶友整形外科病院 看護部長 山崎実枝 からのごあいさつ

令和6年3月1日より、慶友整形外科病院看護部長に就任しました、山崎実枝です。

私は、当院で看護師として働きはじめ18年を経ました。その間、家族や友人、多くのスタッフ、そして、患者様との出会いが、私を支えてくださり看護師を継続することができています。これからも感謝の気持ちを大切に、微力ではございますが皆様のお力添えを頂き、職務に精励する所存です。どうぞよろしくお願い致します。

看護部では、「まごころをこめて、整形外科専門病院として安全で質の高い医療をおこなうとともに地域の健康向上に寄与いたします」の病院理念と「常に患者さんの立場に立ち、専門的な知識や技術、豊かな感性を持って良質な看護をいたします」という看護部の理念のもと、看護師は「看護の心」を大切に患者様の安全・安心・満足を目指して「まごころ」をこめた看護を提供しています。患者様から「この病院に来てよかった」と思ってもらえるように「質の高い看護」を目指し取り組んでいます。その為には、管理業務・看護教育等学ぶべき課題は多く、現在の社会情勢



の変化や医療政策の変化に対応し、医療現場のこの厳しい状況乗り越えてゆかなくてはならないと感じています。医療・看護・介護の役割はますます大きくなりますが、当院の医療を信頼して来られる地域の皆様をはじめ、全国からの患者様やご家族に対し、私達看護師は、医療チームの一員としてこれからも、患者様やご家族の信頼を得られるように、働きやすい魅力ある職場環境をつくり、人材を育てること、そして、お互いを尊重し、共に学び、共に成長し患者さんから頼りになる病院（看護部）となるように努力してまいります。

当院を利用される皆様にとって、困ったときに相談できる病院、地域の皆さまの一番近くにいる医療職として、「顔の見える関係」から「相談しあえる関係」を築いていきたいと考えております。また、良いことも悪いことも含めて皆さまのご意見を（または「声」の書面でも）お聞かせください。医療専門職の一員として、真摯に向き合っていきたいと思っています。

今後ともご支援とご鞭撻をよろしくお願い致します。

このたび、看護副部長を拝命しました高橋昌也です。この度の人事に関しましては、ひとえに皆様の日頃からのご支援の賜物だと心より感謝申し上げます。新病院に移動し早5年が経過しました。手術室も3部屋から5部屋、スタッフ数も22人から32人へと増員され手術件数も年間4000件を超える程までになりました。この手術件数が維持できるのも、外来、病棟はじめとする院内の協力あってこそだと思っています。この場を借りて感謝申し上げます。今後の病院増床に向け、手術室の増室、スタッフの増員、更なる手術件数の増加も予想されます。その中で業務の効率化、スタッフの働きやすく、学べる環境を整えていきたいと思っています。



今までは、手術室師長として手術室側の立場から考える事が多く、言動も手術室看護師としての目線でありましたが、今後は看護部全体の視野で捉え、常に部署最適ではなく全体の最善とは何かを考えた行動をしていきたいと思えます。

若輩者のため至らぬ点も多く、皆様にはご迷惑をおかけすることもあるかと思えます。皆様のお力添えを頂きながら看護部、病院の発展のために尽くしてまいります。変わらぬご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

KLS 委員会とは？

2022年11月慶友会に新しい委員会が立ち上がりました、KLS委員会です。

KLSとはKeiyu Liaison Serviceの頭文字をとった略語で、元々の言葉は骨折リエゾンサービス（Fracture Liaison Service ; FLS）という言葉から慶友オリジナルのチームを作りました。骨折リエゾンサービスとは、さまざまな職種連携により、脆弱性骨折患者に対する「骨粗鬆症治療開始率」「治療継続率」を向上させ二次骨折を防ぐ取り組みです。リエゾンとは「連絡係」「連絡窓口」「つなぎ」などを意味するフランス語です。

脆弱性骨折とは、骨量の減少や骨質の劣化によって骨強度が低下し、軽微な外力（立った姿勢からの転倒かそれ以下の外力）によって発生する骨折です。転んで手をついた、重いものを持ち上げた、尻もちをついた、など健康な方では折れないような外力による骨折です。

脆弱性骨折は高齢者の生活機能を奪い、生命予後の悪化をもたらします。また、一度脆弱性骨折を起こした患者は再骨折（二次骨折）リスクが極めて高くなり、二次骨折を機に寝たきりになる方も少なくありません。

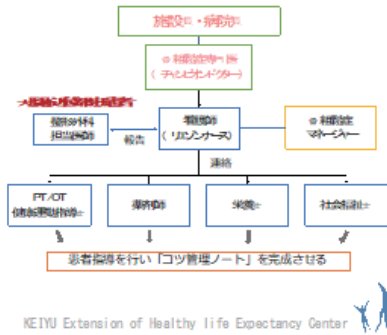
このような二次骨折を予防するためには骨折の治療と共に骨粗鬆症の治療を急性期から開始する必要があります。薬物治療の開始と多職種の専門職による骨粗鬆症治療を骨折治療中から開始する事が重要です。（図1,2）



図 2

KLS (Keiyu Liaison Service)

- ・ 医師：急性期病院で骨粗鬆症治療を開始
- ・ 看護師：KLS のマネジメント（各専門科へ連絡）
- ・ 薬剤師：服薬管理と服薬指導
- ・ 栄養士：食事指導・低栄養の予防
- ・ 療法士：転倒骨折予防運動指導
- ・ MSW：地域連携（かかりつけ医との連携）



KLS では主に大腿骨近位部骨折の患者さんを対象として活動を行ってきました。当院ではこの KLS 活動を行う前までは大腿骨近位部骨折後骨粗鬆症治療開始率は約 20%程度でしたが、KLS の介入後は 53%程度まで改善が見られました（図 3）。

今後も治療開始率を向上させるとともにもう一つ重要なことはこの治療を継続することです。当院の患者さんでも骨粗鬆症の治療が通院困難なために中断された方も少なからずおり、そういった方を地域のかかりつけでフォローすることができれば治療継続が可能かと考えました。そのためには地域の医療機関との連携がとても重要になります。主にかかりつけ医と治療連携を行うことで骨粗鬆症治療中断を予防することができると思われま。そのため当院の新たな取り組みとして「DXA 連携」を行うこととなりました。DXA とは骨密度を測定する評価方法の一つで骨粗鬆症の診断に必要となりますが、導入されている施設は多くありません。そのため機器の共同利用という位置づけで骨密度測定のみを当院で行い、投薬治療はかかりつけ医で行う事を前提とした「DXA 連携」を立ち上げました。利用には当院ホームページに詳細が記載されておりますのでご確認ください。（図 4 参照）

図 4



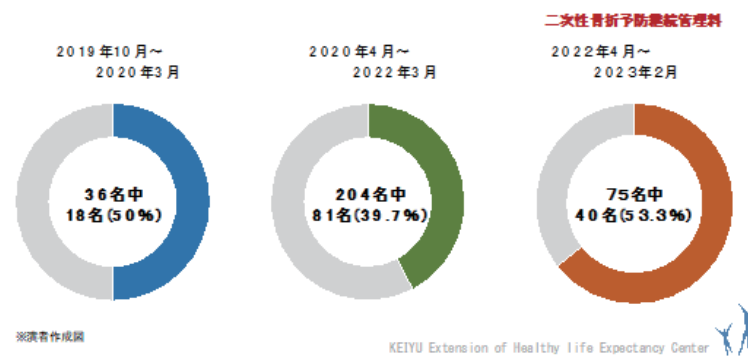
また、KLS の新しい取り組みとして、委員長である中道医師の脊椎固定術の患者さんに骨粗鬆症の積極的な治療も開始しました。脊椎固定術では背骨に金属スクリーを挿入するので、ゆるみ等が起こる可能性があります。土台となる骨が弱ければそのリスクは高くなることが予想されます、そのため骨量が低下している患者さんに対し入院中から骨粗鬆症の治療が開始されます。

そして 2023 年 8 月よりその対象者は拡大し、脊椎の積極的な骨粗鬆症治療が脊椎専門医全体が対象になります。

手術するという事自体はネガティブなイベントかもしれませんが慶友整形外科病院に入院加療することで以前よりもより良い状態に改善できる土台を作るお手伝いができれば、その患者さんの健康寿命の延伸につながると考えます。

今までは FLS 中心とした活動でしたが最初の骨折を防ぐための積極的な骨粗鬆症治療を行う、骨粗鬆症リエゾンサービス（Osteoporosis Liaison Service ; OLS）にも力を入れ、一人でも多くの健康を高めることを目標にしていきます。

図 3 KLS 開始率の推移



新任医師紹介

● 米田 昌弘 (よねだ まさひろ)

平成 11 年弘前大学卒. 平成 17 年大阪市立大学大学院卒. 関西労災病院, 大阪市立大学医学部附属病院, 大阪市立総合医療センター, 大阪掖済会病院, 整形外科よねだクリニックを経て, 令和 6 年 4 月当病院勤務. 日本整形外科学会専門医・リウマチ医・運動器リハビリテーション医. 日本手外科学会認定専門医. 医学博士

今回、大阪から群馬にやって参りました。きっかけは大学の先輩である当院の古島先生からのお誘いがあったからです。野球の投球障害、難治性の胸部出口症候群などで全国的にも有名な先生の下で、手術だけでなく、それぞれの患者さんに対する、「多様性」の治療を学びたいと考えております。また専門とする手外科においても地域医療に貢献できるように頑張りますので、どうぞよろしく申し上げます。

● 岩下 考粹 (いわした こうすい)

平成 22 年熊本大学卒. 熊本赤十字病院, 慶應義塾大学病院, 伊勢原協同病院, 済生会横浜市東部病院, 江戸川病院, 重城病院 CARIFAS 足の外科センターを経て, 令和 6 年 4 月当病院勤務. 日本整形外科学会専門医. 日本体育協会公認スポーツドクター. IOC diploma in sports medicine. 日本足の外科学会認定医

2024 年 4 月 1 日より赴任しました岩下と申します。慶應義塾大学スポーツ医学総合センターに所属し、その後、帝京大学および千葉の木更津市にある CARIFAS 足の外科センターという足専門病院で 7 年間、足部足関節の診療に従事してまいりました。年間 500 件ほどの手術を行ってまいりました。足関節靭帯損傷や三角骨障害といったスポーツ外傷や障害に対する関節鏡を用いた低侵襲手術から、外反母趾や扁平足、変形性足関節症といった変性疾患まで、足部足関節疾患に対して幅広く診療しております。足部足関節は小さい部位ではありますが、疾患は多岐にわたります。足部足関節に関してお困りの症状がありましたら遠慮なくご相談いただければと思います。館林を中心に、群馬、日本、そして世界の医療に貢献できるよう邁進してまいります。今後とも何卒よろしく願い申し上げます。治療を目指して日々努力しております。

● 木瀬 英喜 (きせ ひでき)

平成 25 年慶應義塾大学卒. 静岡赤十字病院, 佐野厚生総合病院, 慶應義塾大学病院を経て, 令和 6 年 4 月当病院勤務. 日本整形外科学会専門医

令和 6 年 4 月より赴任致しました。直近の 5 年間は慶應義塾大学病院で研究、臨床に従事してまいりました。過去に足利赤十字病院、佐野厚生総合病院と両毛地域の病院に勤務した経験があり、またこちらで働けることにご縁を感じております。主に脊椎疾患を担当させて頂きます、患者さんの力になれるよう頑張りますのでどうぞ宜しくお願い致します。

Information

外来

慶友整形外科クリニック

0276-72-6000

〒374-0011

群馬県館林市
羽附町 1741

外来

宇沢整形外科

0276-74-8761

〒374-0016

群馬県館林市
松原 1-10-30

入院・手術

慶友整形外科病院

0276-49-9000

〒374-0013

群馬県館林市
赤生田町 2267

社会医療法人
慶友会

<http://www.ku-kai.or.jp>



健診・ドック

慶友健診センター

0276-75-7000

〒374-0016

群馬県館林市
松原 1-10-30